

# とぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

令和4年3月1日現在の寿台	
総世帯数	1,336 世帯
総人口	2,734 人
男	1,274 人
女	1,460 人
松本市寿台公民館	
〒399-0021	
松本市寿豊丘649-1	
TEL.	(0263)58-6561
FAX.	(0263)86-7964

## 各町会の活動

### 【いきいき百歳体操】

一丁目 箱田 秀夫

コロナ禍による自粛生活で、一人暮らしや夫婦高齢者が多い一丁目町会の唯一の活動が、毎週一回の「いきいき百歳体操」です。健康意識を持った、体力維持を目的にした住民たちが、楽しみをしています。元気一杯の町会長の指導のもと、皆さん真剣な表情で頑張っています。体操後のお茶会の中では、隣近所の安否確認、近況報告などの交流の場となっています。

### 【コロナ禍での活動】

一丁目 古屋 千恵

昨年引き続き、今年もコロナに振り回される1年となりました。その中でも「今出来る事を」と、動いて来ました。



今年出来た行事は、「百歳体操」「納涼祭」「三九郎」「ボランテニア活動」です。中でも、「納涼祭」は、連合の祭りが中止になり、子どもたちの夏の思い出作りにもなると開催しました。来年度は、例年通り行事が出来るよう、願っています。

三丁目 宮下 茂

コロナウイルスの影響により夏祭りが中止となってしまう代わる何らかの思い出をつくらせてあげようと、町会役員と育成会の協力のもとに、「縁日」を開催しました。

あいにくの空模様により、室内で縮小した開催となりましたが子どもたちの楽しそうな笑顔、そしてしゃいだ声が印象として残っています。



### 【コロナ禍での活動】

四丁目 本庄 明子

防災訓練は、災害発生の初期対応と安全確認など、三密防

止を図り、緑地帯のみで行いました。

文化祭は、おもに展示とキーホルダーの作成を行い、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

シルバー会食会は弁当配布を

しました。肺ガンのレントゲンは寿台公民館に行いました。

三九郎は寿台西公園にて行い、御苦労会はふれあいセンターにて弁当配布を行いました。



### 【五丁目町会】

五丁目 鳥羽 雅代

1月8日に三世代交流として、やぐら作りとまゆ玉作りをおこないました。男の子と中学生はやぐら作り、女の子はまゆ玉を作りました。やぐら作りは寒い中、まゆ玉作りは粉まみれになりながら作りました。そして18時に点火。「おー」という声



があがり、大きなやぐらが燃え上がりました。みんなで作ったまゆ玉を焼いて、その場で食べていました。楽しい1日でした。

### 【東町会の同好会活動の紹介】

東町会 小口 和彦

現在、東町会には3つの同好会があります。それぞれ15年以上の歴史があり、町会のコミュニケーションを高める役割を担っています。

①東町会マレットゴルフ同好会  
発足当初から、3月〜12月まで月2回の例会を行っています。会員の高齢化に伴い、近場での開催となり、昨年からは寿台マレットコースでの例会となりました。

②東町会歩こう会  
マレットゴルフ同好会と同時に発足。県内を主体にウォーキングを楽しんできました。残念ながら、新型コロナの流行で昨年度はすべて中止となり、今年再開が期待されています。

③東町会新そばを楽しむ会  
「挽きたて」「打ちたて」「ゆであて」の三たてを楽しむ会です。今では、そば打ちの時間は短くなりましたが、蕎麦は長くなりました。やはり新型コロナで昨年度は中止。今年、おいしい蕎麦が味わいたいと願っています。

**八丁目 江藤 弘子**  
 6月下旬、八丁目公民館に念願のエアコンが設置され、7月に開いたお楽しみ会は、町会の皆さんへのお披露目の場となりました。コロナでなければ交流会やお茶会などで広く活躍するのですが、それがなかなかできなかったのが残念なところです。数年前にトイレが洋式となり、エアコンもつき、快適に使えるようになった公民館。早くみんなが集える場所に戻ってほしいものです。

**【三九郎について】**

**九丁目 二木 博史**

1月8日土曜日午後4時より寿台東公園において育成会主催による三九郎が実施されました。少子化のため、寿台八丁目、東町会、九丁目の三町会合同の行事となっており、コロナ禍の影響で恒例行事の中止が相次ぐ中、久し振りに子どもたちの笑顔に癒やされました。今年は櫓組みも子どもたちが参加し、皆一生懸命取り組みました。



**編集後記**  
**館報編集委員**

**箱田 秀夫(二丁目)**

通常館報は見る側の立場で、突然引受けた館報編集委員、町内公民館館長の仕事は大変でした。寿台公民館長、主事の指導のもと、毎回の記事が作成され、寿台文化祭は縮小となりましたが無事開催できたことは良かったです。

公民館を拠点として、その地域の様々な出来事、行事活動館報を通して地域住民に情報発信している事を再確認し勉強になりました。地域住民が共に支え合い、安心して生活できる町づくりの意識が高まってくれることを願っています。

**町内公民館長会会長**

**古屋 千恵(二丁目)**

この1年を振り返ると、やはりはずせないのは「コロナ」ですね。昨年からはありますが、色々な制限がかかる中、行事が中止になり、館報に載せる記事選びには苦労がありました。町内公民館長を引き受けて分かったことがあります。それは、裏方の仕事量の多さです。計画、準備、実行、

片付け、公民館長だけではなく、町会役員、連合役員、センター長、主事、寿台に関わる人全ての方が動いてくれて成り立っているということ。その方々に感謝し、来年度にも期待したいと思います。

**中島 孝子(三丁目)**

1年間を終えようとしています。何をしたのだろうかと思いついても常に「コロナ」がありました。人の集まりを減らし、話すこともできず、寂しいですね。公民館で、サークル活動、講演会、研修旅行など、以前のように出来る日が、くると思います。

**本庄 明子(四丁目)**

コロナ禍での活動は、四丁目では敬老会と、三九郎を行いました。敬老会は、弁当の配布のみでもさみしく、楽しみにしていたのに、早くコロナが治まり、元氣な皆さまとお逢いしたかった、と声を多くいただきました。三九郎は西公園にて行い、その後ふれあいセンターにてコロナ禍の対策をし時間を縮小して、青年部の皆さまと少しお話が出来ま

したが、早くコロナが治まり、今まで通りの活動が出来ることを願います。大変お世話になり、ありがとうございます。

**島羽 雅代(五丁目)**

今年度、初めて公民館長をやらせていただきました。色々やりたかったのですが、コロナでほとんど、活動が出来なく、残念な思いでいっぱい。ただ、子どもたちといっしょに花火大会と三世代交流としてまゆ玉作りが出来た事はよかったです。来年はコロナがおちついて、色々出来たらいいなあと思っています。

**館報編集委員長**

**小口 和彦(東町会)**

初めての町内公民館長を体験させていただきました。公民館報の編集委員長も仰せつかり、手探りで務めさせていただきました。折から新型コロナウイルスの感染拡大で、行事は殆ど中止になりましたが、地区公民館長・主事・各町内公民館長さんの協力で1年を過ごすことができました。

公民館報もコロナで予定した行事が中止になり、お伝えする予定記事を差し替えたりで大変な1年でした。来年度は、コロナに負けない年になるよう願っています。ありがとうございました。

**館報全市版編集委員**  
**江藤 弘子(八丁目)**

町内公民館長になり3年がたちました。コロナ前からコロナ禍へと取り巻く状況は大きく変わり、公民館活動も難しい状態が今も続いています。今年度は2回のお楽しみ会を開きました。「楽しんでいただけたよ」と大勢の方が足を運んでくれました。うれしい限りです。これからも交流の場として、公民館が使われてほしいと願います。

**二木 博史(九丁目)**

今年度初めて町会の公民館長を拝命し、公民館長会、館報編集委員会に参加させていただきました。大してお役に立てませんでした。一句を大事に作成する作業に際し、これまでにない経験をさせていただきました。また、長期化するコロナ禍の中、規模縮小とはいえ実施に至った文化祭における模擬店は、改めて地域の方々との触れ合いの機会となり大変印象深いものとなりました。1年間本当にありがとうございました。